

後援 | 厚生労働省

2040年問題 に備える

豊かな長寿社会を
将来世代に引き継ぐ

9月13日金

入場
無料

全社協・

灘尾ホール

13:00 開場・受付開始

13:30 開会挨拶

江利川毅

(公益財団法人 医療科学研究所 理事長)

13:35 来賓挨拶

鈴木俊彦 (厚生労働事務次官)

13:45 座長基調講演

清家 篤 (日本私立学校振興・共済事業団理事長、
前慶應義塾塾長)

14:05 講演<発表順>

玄田有史 (東京大学 社会科学研究所 教授)

井伊雅子 (一橋大学 国際・公共政策大学院 教授)

宮本太郎 (中央大学 法学部 教授)

15:05 休憩

15:20 ショートスピーチ<発表順>

鈴木俊彦 (厚生労働事務次官)

尾崎正直 (高知県知事、全国知事会 社会保障常任委員会 委員長)

15:50 パネルディスカッション

座長: **清家 篤**

パネリスト:玄田有史 井伊雅子 宮本太郎 鈴木俊彦 尾崎正直

16:50 座長まとめ

17:00 閉会挨拶

戸田健二 (公益財団法人 医療科学研究所 専務理事)

※敬称略

2040年問題に備える—豊かな長寿社会を将来世代に引き継ぐ—

開催趣旨

私たちは今、豊かな長寿社会を享受しています。これは私たちの先達による経済発展や社会保障充実への努力の賜物です。私たちはこれを将来世代にしっかりと引き継いでいく責任を負っています。

今生まれた赤ちゃんが二十歳の成人を迎える2040年ごろ、日本の高齢人口はピークを迎えます。このままでは労働力人口も大幅に減ってしまうと予測されています。これによって経済成長率の鈍化、貧困の拡大、社会保障制度の持続可能性低下などのリスクも高まります。しかし今からしっかりと備えておけば、2040年にも豊かな長寿社会を実現することは可能です。

一つはそうした社会の支え手を増やすことです。まずは何よりも子育て支援を充実させ、少なくとも希望出生率1.8を回復することは急務です。その上で、現在まだ十分にその能力を発揮しきれていない女性や高齢者の雇用を促進し、その人たちに社会の支え手になってもらうことが重要です。2040年にはまだ比較的若い高齢者である団塊ジュニア世代の人たちにも社会を支え続けてもらえるよう、とくにそのなかで現在非正規雇用となっている人たちにできるだけ早く正社員になってもらうなど、今から準備することです。

二つ目に、現在進行中の第4次産業革命の成果を活用することです。とくに医学・生命科学の分野での技術革新は、健康寿命を伸長させ、医療や介護の効率を高めてくれると期待されます。そのことは職業寿命を伸ばして社会の支え手を増やし、高齢期の生活の質を高めてくれるでしょう。

そしてもう一つ、人口減少社会において互いに支え合う仕組みを充実させていくことも大切です。就労など自らを助ける自助、相互にリスクに備える社会保険などの共助、最後のセーフティーネットとなる公助のバランスをどうとるのか、さらに人口減少によって行政の人的資源も制約されるなかで、地域での生活に必要なサービスを、住民同士で互いに提供しあうような「互助」の仕組みの工夫も欠かせません。

このシンポジウムでは、こうした課題について、それぞれの専門分野の第一人者に論じて頂き、それらの方々とパネルディスカッションを通じて問題点を深掘りしていきたいと考えています。

パネルディスカッション 座長

日本私立学校振興・共済事業団理事長、前慶應義塾塾長

清家 篤

開催日時

2019年9月13日(金) 13:30~17:00

開催会場

全社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビルLB階

TEL: 03-3580-0988

- ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線/日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩7~8分
- ▶ 地下鉄千代田線/丸ノ内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

お申し込み方法

ホームページ(右QRコード/下URL参照)から参加をお申し込みください。電子メールにて登録票を送付いたしますので、シンポジウム当日に受付にご提示ください。

※定員に達した場合は、お申し込みを終了させていただきますので、予めご了承ください。

※お申し込みいただいた個人情報は適切に管理し、登録票の発送と運営事務局からのご連絡以外の目的では使用いたしません。



ホームページ <http://www.iken.org/>

お申し込み締切 2019年 9月9日(月)

入場
無料

会場 MAP

